



あけぼのつうしん

No.72

2020年10月28日発行

〔目次〕

■ 注目！notable case ～道内図書館（室）トピックス～

新・図書館スタイルのスタート！

- 「児童室等リニューアルしました」市立小樽図書館 寄稿 1p
- 新施設に移転オープン 夕張市りすた図書館 4p
- 展示「ゴールデンカムイの世界」 比布町図書館 5p
- おすすめの本をPOPで紹介 雄武町図書館 5p
- 夜のブッククラブ 芽室町図書館 6p
- ボードゲーム貸出 中札内村図書館 6p

■ 市町村活動支援事業レポート 令和2年度上半期

- アイディア出し合い環境改善
学校図書館運営相談事業 幌延町立幌延中学校 8p

■ お知らせ

- ① 令和2年度（2020年度）下半期 大会・研修会等情報 9p
- ② Library of the Year 2020
ライブラリアンシップ賞受賞 北海道ブックシェアリング 10p
- ③ 学校図書館サポートボックス 3期追加募集のお知らせ 10p

北海道立図書館



新・図書館スタイルのスタート！

リニューアル

展示

イベント

ゲーム

多くの図書館（室）が臨時休館した今年度の初め。道内の市町村立図書館（室）は、新しい生活様式の下に 5 月下旬以降サービスを再スタートさせました。

図書館（室）の新しい姿や開催されたイベント…この「当たり前」を（ほんの一部ですが）皆さんと共有したいと思います。



今号では、市内での感染拡大防止のため再度の休館（6/29～7/12）を経験した市立小樽図書館から、図書館での新たな過ごし方を予感させる明るい話題を御寄稿いただきました。あわせて、小樽市学校図書館協議会からの情報もご紹介します。

リニューアル

寄稿

市立小樽図書館

8月
オープン



児童室等リニューアルしました。

小樽出身で、かつて中学校教員だったフロリダ在住の方からご寄附をいただき、児童室や休憩コーナー、テラスをリニューアルしました。小樽の親子に、憩いの場を創ってほしいという強い思いから実現いたしました。なんてすてきな、ラブレター・フロム・アメリカ♪



まずは、児童室。この熱い思いに応えるべく、すっと立ち上がったのが、当館自慢の3人の精鋭、子どもの読書を担当する児童チームです！！

なんといっても、昨年、「小樽市子どもの読書活動推進計画」を策定したこともあり、子どもたちにとって読書が楽しくなるような、すてきな空間となるよう、メンバー全員図面とにらめっこ。「開放的な空間」「くつろげる空間」「本と出合える空間」の3つをテーマとし、アイデアを出し合っていました。レイアウトについては「親子のふれあい」と「学び」でゾーニング。さてさて、歴史的な重厚さ（笑）を醸していた児童室は、一体どのように変わったのでしょうか？

児童室



← BEFORE ↑ AFTER う～ん、開放的！！

まずは、児童室入り口を入ると、右手にある「親子のふれあいコーナー」。当館のキャラクター「たるぼとちゃん」の親子の木製レリーフがお出迎えいたします。階段状のおはなしコーナーを撤去し、すっきり広々の空間となった上に、フワフワ絨毯の上を、靴を脱いで上がるので、親子でくつろぎながら絵本を広げるにはぴったり！！館内に配置されたユニークな形のベンチやマットで、楽しみながら本を読むことができます。

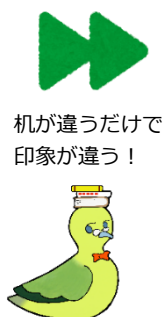
また、木目調を主体とした書架に合わせ、これまた木目調の机といすは、リラックスした気分で学習ができそう。楕円形に優しさを感じます。これで学習意欲がモリモリ湧くことまちがいなし！？

これに合わせて、配架も一工夫！絵本も、それまではなぜかサイズ別に分けていくつかの棚に配架されていたものをひとつに統一し、探しやすくなるように配架変えし、参考図書も、机といすのすぐそばになりました。

児童室を出るとすぐ脇に授乳室も完成し、1階には、親子のための憩いの場ができました。

それでは2階に上がって行きましょう。階段上がって正面は、学習室です。改修はしていませんが、それまでの会議机とパイプいすを、間仕切りのあるキャレルデスクに変えました。木目調が和む上に、コロナの時代にも合う間仕切り付きです。生徒や学生の皆さん、今まで以上に真剣に勉強できそうですよ。私もここで仕事をしたいくらいです。

学
習
室



すずい〜っと、渡り廊下を進むと突き当り右に休憩コーナーがございます。以前は長椅子をデデンと置いていただけの、「休憩」にはちょっと寂しいコーナーがカフェ風になりました。ハイ、ここも木目調の机といす。これは休憩をせずにはられません！

休
憩
コ
ー
ナ
ー



■注目！notable case



ここで驚いてはいけません。一番変わったのは、テラスです。
←以前は、まず、外に出られませんでした。せっかくの広々とした空間は、はがれたコンクリートに、コケ、フキ、エノコログサ…。
雑草観察ができる、それは、それは、さびれた空間でした。
祇園精舎の鐘の声こそ聞こえませんが、諸行無常感満載でした…。

それが、ハイ、どどん！休憩コーナーのドアを開け、一步外に足を踏み出すと、そこはパリ！！ →→→

なんと、パリが小樽図書館に出現しております！！！！ウッドデッキ、真っ赤なパラソル。おしゃれなカフェのようです。

こうして、ついに当館に憩いの空間が完成したのです。(文責：市立小樽図書館 海藤)



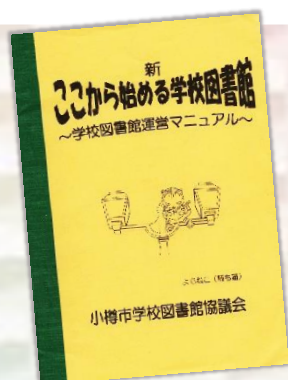
テラス

【資料紹介】市立小樽図書館の学校図書館支援メニューも掲載！

『新 ここから始める学校図書館～学校図書館運営マニュアル～』2019年4月発行

学校図書館の展示や配架の様子がカラー図版でわかりやすく、初めて学校図書館担当になっても仕事内容がこの一冊でわかる便利なハンドブックです。図書委員のスタッフマニュアルとして、また、公立図書館の学校図書館連携でも参考にしたい資料です。

※お問合せ先：小樽市立朝里中学校長 森 万喜子 様宛 (Eメール:mori.makiko@otaru.ed.jp)



小樽市学校図書館協議会発行
A5サイズ 36p 500円

【目次】

- I 学校図書館って何？
 - II 学校図書館担当者になったら
 - III 具体的な運営の方法
(図書の選定、受入れ、分類、配架、貸出業務、図書委員会の活動例、広報活動、除籍・廃棄・除架、学校図書館図書標準について)
- 資料、参考・引用文献及び資料



新施設に移転オープン

リニューアル

夕張市りすた図書館

運営相談事業のため、オープンして間もない6月に訪問しました。



入口にある「駅」のような看板

夕張市の図書コーナーは、令和2年3月1日に、新しくできた市の拠点複合施設「りすた」に移転し、「りすた図書館」という名前で再スタートしました。「りすた」の名前の由来は、夕張の「り」と駅（Station）の「すた」からきており、夕張の新たな「まちの駅」として始動することに期待が込められています。

開館してまもなく、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言があり、他の自治体同様、5月下旬までの休館を余儀なくされましたが、通常開館後は、少しずつ利用者の姿も戻って来ています。以前図書コーナーがあった保健福祉センターよりも市の中央部に移動したことから、南支所の近隣住民の新規登録が増えました。



＜展示コーナー＞



＜図書コーナー＞
書架の上にあるサインは「りすた」の建物の形



＜学習室＞
(椅子を間引いています)



＜YA コーナー＞



＜図書検索コーナー＞
(ネットは不可)



オススメ本「みんなで作る本棚」



＜子ども図書コーナー＞
円形の書架がわくわくします

隣接する「ゆうぱりっ子ひろば」にも布絵本などを置いています。

りすた施設内では、「ゆうぱりっ子ひろば」という乳幼児・児童の遊び場を親子で利用できたり、バスの待合所があるため通学バスを利用する中学生が滞在したり、多目的室で大人向けの体操教室などの事業が行われていたりして、様々な活動が行われています。

子どもから高齢者まで幅広い世代が訪れる「みんなの交流拠点」として、りすた図書館のさらなる利用拡大や情報拠点としての役割が期待されます。

展示

「ゴールデンカムイの世界」

比布町図書館

『ゴールデンカムイ』（ヤングジャンプコミックス 集英社）の購入をきっかけに、新たな利用者やアイヌ民族に関心を持たれる町民が増えたことを実感した比布町図書館は、民族共生象徴空間「ウポポイ」の開業に併せて、他のアイヌ民族関連の蔵書とともに、標記の資料展示を開催しました。

展示の設置にあたって、川村カ子トアイヌ記念館（旭川市）と交流があり、ご自身で熊の木彫りやアイヌの祭事に使う道具等を作っている町民の方から、それらの実物も借り受け、飾り付けも協力していただきました。

本誌 No.69（2020.2.27 発行）でも、「特集 図書館からアイヌ文化発信！」として、関連する市町村の取組等を紹介しています。



展示

おすすめの本をPOPで紹介

雄武町図書館

雄武町図書館では、児童が作成したPOPを展示しました。町内の小学校4年生が夏休みに図書館の本を読み、国語の授業で作成したものです。子どもたちの思い思いの言葉がカラフルな紙に記されたPOPが、本と共に並びました。小学校からの提案により実現した展示ですが、図書館では連携事業と位置付け、今後も学校や団体等と協働し、様々な事業を展開していく考えです。



イベント

夜のブッククラブ

芽室町図書館

芽室町図書館では、本に深く親しんでいる読書人を対象に、個人的な愉しみである読書が、仲間・集団の中で感慨を共有でき、図書館が、本を仲介に人と人との活性化の場となることを目指して、「夜のブッククラブ」を企画しました。

手始めに、図書館関係者を中心に、各界の本好きの方々16名に、「2019 年度わたしの読んだベスト3」、「無人島に持っていく本」をテーマに3冊ずつ紹介していただき、冊子にまとめました。隔月で図書館に集い、紹介された本を題材に語り合います。予想以上に多くのジャンルが集まり、まわりにはこんな本の達人もいるのだということを知ることになりました。将来的にはコミュニティ的な自主運営ができるようになればと考えています。



実際に紹介された本の一部は、本誌 No.71 (2020.7.14 発行)「特集 コロナ禍の中の図書館サービス」に掲載しています。

ゲーム

ボードゲーム貸出

中札内村図書館

中札内村図書館では、今年3月から「ボードゲーム貸出」を開始しました。貸出期間は1週間、原則1家族1点までの貸出です。

同館では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、おうち時間を充実させるための取組を行っており、「ボードゲーム貸出」はその一環として開始しましたが、現在も継続して貸出を行っています。



「どうぶつしょうぎ」「スティッキー」「おばけキャッチ」など、色々な種類のボードゲームがあり、公開されているボードゲーム一覧には、対象年齢、プレイ人数、プレイ時間のほか、簡単なルール紹介とともに、「戦略系」「アクション系」「スピード系」など、それぞれのボードゲームの系統も掲載されています。

また、「ボードゲーム貸出」の開始後しばらくすると反響があり、「みなさん楽しんでいただけますように」というメッセージとともに、新しいボードゲームが図書館へ寄贈されたという心温まるエピソードが同館 Facebook に投稿されました。

海外ではボードゲームを収集している図書館もあり、最近は日本の図書館でもゲームを通じて人と本を結びつけるツールとして、ボードゲームを楽しむ活動が広がっています。

★次のページで、「中札内村図書館ボードゲーム一覧」を紹介！

中札内村図書館ボードゲーム一覧

どうぶつしょうぎ	
	<p>3×4=12マスの中で行うかんたんな将棋です。相手のライオンをつかまえるか、相手の国に先に入ると勝ちです！</p> <p>4歳から・戦略系 ⌚ 5分〜 ♢ 2人</p>
スティッキー	
	<p>サイコロで指定された色の棒をくずさないようにリングから抜いていくバランスゲームです。</p> <p>6歳から・アクション系 ⌚ 約10分 ♢ 2人〜4人程</p>
おばけキャッチ	
	<p>カードのお題を見て、すばやく正しいアイテムを取るゲームです。取る条件が2種類あるのがポイントです！</p> <p>8歳から・スピード系 ⌚ 20〜30分 ♢ 2人〜8人程</p>
テレストレーション	
	<p>伝言ゲームとお絵かきが合わさった大爆笑のパーティーゲームです。「おくさんお絵かきですよ！」をみんなでやる感じです。</p> <p>12歳から・イラスト系 ⌚ 約15分 ♢ 4人〜8人程</p>
ポブジテン	
	<p>ポブは事典に載せるカタカナ語をカタカナ語を使わないで説明します。みんなは、ポブが何の説明しているかを答えましょう！</p> <p>10歳から・言葉系 ⌚ 約30分 ♢ 3〜8人</p>

ウボンゴ	
	<p>パズルを完成させるスピードを競うゲームです。とてもルールがわかりやすいので、8歳より小さい子も皆で楽しめます。</p> <p>8歳から・パズル系 ⌚ 約25分 ♢ 1〜4人</p>
Out foxed!	
	<p>パイを盗んだ犯人はだれた！町で手がかりをさがして、手がかりスキャナーで犯人が逃げ出す前にみんなでさがします。</p> <p>5歳から・協力系 ⌚ 約20分 ♢ 2人〜4人</p>
ディクシット	
	<p>イラストから想像できる言葉を考えてゲームする、ボードゲーム初心者にもおすすめの会話がはずむゲームです。</p> <p>8歳から・コミュニケーション系 ⌚ 約30分 ♢ 3人〜6人程</p>
パンデミック	
	<p>医療研究チームの一員になって4種類の病原体に立ちむかいます。プレイヤー全員が勝つか負けるかの協力型ゲームです。</p> <p>8歳から・協力系 ⌚ 約45分 ♢ 2人〜4人程</p>

※対象年齢や時間、人数は公式情報から引用しています。そのため、初めてプレイする時はそれよりも長く時間がかかるかもしれません。また、内容がシンプルなものだとそれより下の年齢でも楽しくあそぶことができました。



アイデア出し合い環境改善

学校図書館運営相談事業 幌延町立幌延中学校



宗谷地方に大雨警報が出る悪天候の8月7日（金）、「ぜひ図書館の環境整備に取り組みたい」という小野校長先生の熱意あるご相談を受け、幌延中学校にて運営相談を行いました。

幌延中学校では授業にタブレットを活用するなどICT教育に力を入れている一方で、これまでほとんど図書館の資料を活用できなかったため、「学校図書館をどう利用していいかわからない」という戸惑いが先生方の中にあるようでした。

集まってくださった先生方と一緒に学校図書館の環境改善について基本的な事項を共有したあと、図書館に案内していただきました。幌延中学校の図書館はコンパクトながらも、入ってすぐ全体が見渡せる、天井が高く窓の大きい、絨毯敷きの明るい空間でした。



ただし、その大きな窓と本棚が対面しているため、本がすぐ日に焼けてしまうこと、日焼けを防ぐために常時カーテンがしまっており、せっかくの景色がまったく見えないことなど悩みも多かったです。また、新しい本と古い本とが入り混ざり、ほとんど見出しがないために、どの棚にどんな本があるのかすぐにはわからない状態で、司書教諭の先生がまずは分類ごとに表示を作ろうと準備をしているところでした。

先生方も、棚に近づいて背表紙を眺め、本を実際に手に取ってみて、本棚の状態を確認しました。すぐに出来る模様替えや展示にはどんなものがあるだろうかと、アイデアを話しあう様子なども見られ、今後、どんな図書館になっていくのかとても楽しみに became



分類の表示を作成中



先生方もみんなで本を確認しました

■ お知らせ

①令和2年度（2020年度）下半期 大会・研修会等情報

令和2年10月下旬以降の図書館に関する大会や研修事業等を一覧にしました。すでに開催方法や会場の変更等が決定している事業については、その旨を追記しています。

今後も中止を含めた変更が予想されますが、研修等参加の参考情報としてご活用ください。



実施日	機関・団体	事業名	開催地（会場）
⑩ 10月22日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修 〈子ども読書（学校支援）〉	北見市 ●会場変更 （北見経済センター）
⑩ 10月22日～23日	北日本図書館連盟	北日本図書館連盟研究協議会	山形県山形市 （遊学館ホール）
10月29日～30日	日本図書館協会	●オンライン開催 第106回全国図書館大会	和歌山県和歌山市 （和歌山県民文化会館ほか）
11月4日～6日	図書館総合展運営委員会	●オンライン開催 第22回図書館総合展	神奈川県横浜市 （パンフィコ横浜）
11月18日～20日	文部科学省 秋田県立図書館	図書館地区別（北日本）研修会	秋田県秋田市 （秋田県生涯学習センター）
11月20日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	館長会議（講話）	札幌市 ●会場変更 （ライフォート札幌）
11月26日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修 〈経営（企画・広報）〉	岩見沢市 ●会場変更 （岩見沢市生涯学習センター）
12月10日～11日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修 〈サービス（レファレンス）〉	札幌市 ●会場変更 （かでの2・7）
1月7日	北海道学校図書館協会	北海道学校図書館研修講座	札幌市 （かでの2・7）
1月14日～15日	日本図書館協会	全国公共図書館研究集会 （サービス、総合・経営部門）	大阪府大阪市 （大阪府立中央図書館）
1月15日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修 〈サービス（資料保存）〉	札幌市 ●会場変更予定 （未定）
2月18～19日	道立生涯学習推進センター	地域生涯学習活動実践交流セミナー	札幌市 （かでの2・7）
10月～	北海道教育庁生涯学習課	読書活動活性化フォーラム ※ H30年度から3年間で全管内実施。 R2年度は4会場（管内ごと）で実施。	空知（未定） 日高（11月 平取町） 宗谷（11/27 稚内市） 十勝（12/2 帯広市）



研修についての情報は、以下のサイトもご参照ください。

■ 日本図書館協会 > J L A 主催行事

<http://www.jla.or.jp/jlaevent/tabid/93/Default.aspx>

■ 北海道立図書館 > 道内の図書館・お知らせ・イベント

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/event/index.html>

② Library of the Year 2020 ライブラリアンシップ賞 一般社団法人 北海道ブックシェアリング

「Library of the Year (LoY)」は、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して、NPO法人知的資源イニシアティブ*が毎年授与している賞です(2006年から毎年、図書館総合展のフォーラムとして開催)。

今年是一般社団法人北海道ブックシェアリングが、ライブラリアンシップ賞を受賞されました。



【LoY 授賞理由 (要約)】

数々の地域の課題に向き合い、真摯に地道で戦略的な努力を重ねてきた。

- ・2018年の胆振東部地震では、被災地にいち早く入り、図書館復興の先頭に立ったこと
- ・書店のない地域に行ってブックフェスティバルを開催し、過疎の町の知的ニーズに添えてきたこと
- ・今年春に学校図書館サポートセンターを開設し、自治体の学校図書館づくりの本格的支援に乗り出したこと



このたびは栄誉ある賞をいただき、身の引きしめる思いです。

あらためて本会の理念である「格差のない読書機会の実現」を目指して活動を進めてまいります。

代表理事 荒井宏明様

※NPO法人「知的資源イニシアティブ」 略称「IRI」(Intellectual Resource Initiative)

知的情報資源の収集・蓄積・利用に携わる、またはこれらに関心を持つ個人・団体・機関が、知的情報資源に関わる環境整備という大局的な見地から相互交流を深めて議論を行うため、研究会などの開催や啓蒙、提言の公表を行う団体として設立されました。

前身の任意団体「知的サービス研究会 (ISI)」は2001年に発足。2003年7月にNPO法人「知的資源イニシアティブ」へと発展したものです。

IRI ホームページ (<https://www.iri-net.org/>) の「IRIの趣旨」「IRIの沿革」から要約

③ 学校図書館サポートボックス 3期 **追加募集** のお知らせ

学校図書館での活用をはじめ、学級文庫や市町村立図書館(室)での貸出しなど、いろいろな使い方ができる便利なセットです。

3期の募集は**残り5セット**(発行日現在)。申込みは先着順で承っておりますので、まずは電話等でお気軽にお問い合わせください。

募集中のセット名	冊数	募集セット数	貸出期間
「北海道を知る本 H」 (History 文化・歴史編)	約40冊	2セット	令和3年1月下旬～3月下旬
「北海道を知る本 N」 (Nature 自然・動植物編)	約40冊	3セット	



先日、道立図書館では、道立教育研究所の協力の下、名前だけはすっかりおなじみとなった Web 会議システム「Zoom」の使い方について研修を行いました。「習うより慣れろ」とは言いますが、やはり何事も「先達はあらまほしきことなり」。Zoom の研修を Zoom を使って行うということに緊張しながら、画面の向こうからの指示にしたがって、1つ1つの機能を体験しました。

職場ではオンライン研修、家ではネット通販。便利な一方で、直接会って見て触れることを、今年ほど望んだ夏はなかったような気がします。

みなさんの図書館（室）の活動の情報をお寄せください。好評だった事業、新しく始めた取組など、随時受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想もお待ちしています。

→ shienka@library.pref.hokkaido.jp



あけぼのつうしん No. 72

発行日 令和2年(2020年)10月28日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>